

門別ことぶき学園「新年交流会」

1月15日、門別公民館で門別ことぶき学園第6回本科「新年交流会」が学園生及び専科講師75名参加のもと開催されました。

開式では学生自治会の木村会長より昨年の出来事を振り返りつつ「今年もみなさん元気で頑張りましょう」と新年の挨拶があり、その後のレクゲームや百人一首は大いに盛り上がりました。

昼食後はビンゴ大会を行い、会場内は終始和やかな雰囲気、学園生たちは新年早々の交流会を楽しんでいる様子でした。



平成25年度日高西部広域社会教育事業

遊ingスキー教室

1月9～10日、国立日高青少年自然の家で「遊ingスキー教室」が開催されました。

日高・平取両町から小学4～6年生の23名が参加し、1日目は屋外での雪中運動会やスノーラフティングに加え屋内での交流レクリエーションを、2日目には日高国際スキー場でスキー、スノーボード教室を行いました。

参加した児童はスキー、スノーボードの基礎技術の習得を図るとともに楽しく交流を深めることができました。





日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第24号 2014. 2.

石のステンドグラス「岩石薄片」の講座・体験を行なっています。

岩石の薄片を作って、偏光顕微鏡や偏光板で見てください。そこには宇宙が…？

一昨年のネイチャーセミナーから、岩石薄片の作成の普及事業を開始し、今年もネイチャーセミナーや、日高中学校生の職業体験、日高町教育研究協議会理科部会の講習会などで、岩石薄片作成と観察を取り入れてみました。

岩石薄片は、岩石を平らに磨き、その磨き面を接着剤でガラスに貼り、さらに薄く研磨したもので、だいたいの岩石薄片の厚さは0.03mmです。トイレットペーパー（厚さ0.04mm）より薄いのです。これを、偏光顕微鏡で観察すると、鉱物の種類や結晶構造などを詳細に観察でき、地球科学の重要な手掛かりを見つけることができます。本来の用途は、難しい印象をもたれるかもしれませんが。

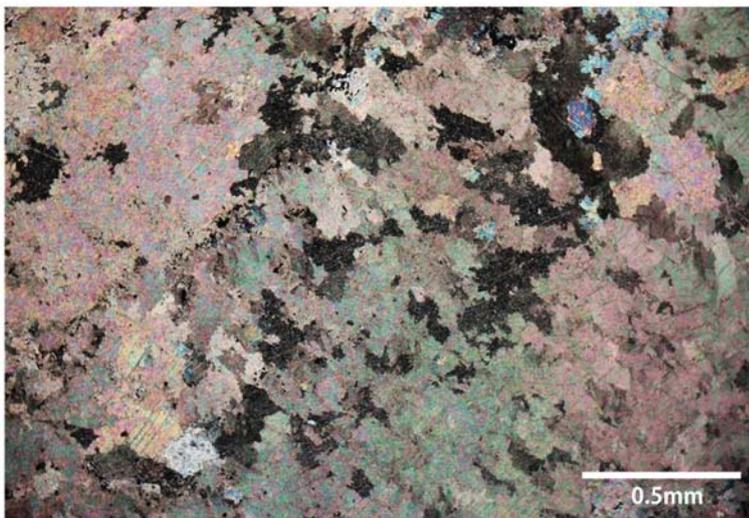
ところが、岩石によっては、偏光顕微鏡で観察するとき、目の前に、色鮮やかな世界が広がるのです。かの宮沢賢治も、岩石薄片を偏光顕微鏡でのぞいたとき、「石の中にも宇宙がみえる」とつぶやいたというエピソードもあります。



一例で、真っ白い石灰岩を薄片にします。



岩石を切って磨き、ガラスに貼り付けているところです。ガラスは28mm×48mmです。



石灰岩の薄片を偏光顕微鏡でのぞくと、同じ白い石とは思えない、なんともカラフルできれいな世界が広がります。

当館では、今のところ、岩石薄片作成は、岩石薄片作成工程での安全性と所要時間等を考慮し、最終工程の研磨から始めています（最初からですとほぼ1～2日かかります）。

また、当館2階には、偏光顕微鏡の投影機が設置されており、学芸員に申し出ただけであれば、さまざまな岩石薄片の色鮮やかな世界を体験していただけます。

岩石薄片の作成や、宮沢賢治も感じた偏光顕微鏡でのぞく岩石薄片の中の宇宙など、ぜひ体験してみてください。

日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。特に今号は、岩石薄片中の宇宙がきれいに見える、カラー版がおすすめです！